

聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリアヘルスケアセンターでは、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データからあなたの情報を削除できませんので、ご了承ください。

| | | | |
|--------------|---|------|------------------|
| ① 研究課題名 | テント下病変における高次脳機能障害と大脳白質病変との関連 | | |
| ② 実施予定期間 | 承認日～2021年9月10日 | | |
| ③ 対象患者 | 聖マリア病院で初発の脳血管障害（テント下病変）と診断され、聖マリアヘルスケアセンター回復期リハビリテーション病棟に転院された患者さん | | |
| ④ 対象期間 | 2015年4月1日～2020年8月31日 | | |
| ⑤ 研究機関の名称 | 聖マリアヘルスケアセンター | | |
| ⑥ 対象診療科 | リハビリテーション科 | | |
| ⑦ 研究責任者 | 氏名 | 前田亮介 | 所属 聖マリアヘルスケアセンター |
| ⑧ 使用する資料等 | 診療情報より下記事項を調査します。 年齢、在院日数、性別、病巣の局在、高次脳機能評価としてMMSE、Trail Making Test (TMT)、CAS、リバーミード行動記憶検査 (RBMT)、FAB、コース立方体テスト、Vitality Index、ADLの評価としてFIM、FIM効率を抽出し後方視的に調査します。また、MRI FLAR画像より、日本脳ドック学会のガイドライン2014を参考にFazekasによる評価方法を用い評価します。 | | |
| ⑨ 研究の概要 | 回復期リハビリテーション病棟において高次脳機能障害に対するリハビリテーションは重要です。今回、テント下病変において、大脳白質病変が及ぼす影響について検討することで、大脳白質病変を有する症例の臨床的特徴を描出し、適切な高次脳機能障害に対するリハビリテーション介入の一助と致します。 | | |
| ⑩ 研究計画書等の閲覧等 | 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 | | |
| ⑪ 結果の公表 | 研究結果については学会等において登録・発表予定であります | | |
| ⑫ 個人情報の保護 | 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。 | | |
| ⑬ 知的財産権 | 聖マリアヘルスケアセンターに属します | | |
| ⑭ 研究の資金源 | 特にありません | | |
| ⑮ 利益相反 | 研究結果に影響を与えるような利害関係はありません | | |

| | | |
|---------------|---|--------------|
| ⑯ データの2次利用 | 本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。 | |
| ⑰ 問い合わせ先・相談窓口 | 聖マリアヘルスケアセンターリハビリテーション室 前田亮介 | |
| | 電話 | 0942-35-5522 |